

平成28年度

RyuMIC PROGRAM



RyuMIC研修医の声

ずけやま りゅうた

No.1 2年目 瑞慶山 隆太

プログラム「ていだ」



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	第一内科		精神	第二外科		救急 (ハートライフ)			第三内科			
2年目	第一内科	皮膚	麻酔 (那覇市立)	地域医療	第二内科	放射線	泌尿器	第二外科	第二内科	産婦 (那覇市立)	第一内科	

こんにちは、研修医2年目の瑞慶山隆太です。一読した後にRyuMICに少しでも興味を抱いて頂ければ幸いです。

まず、私はRyuMICの『ていだ』コースという一番自由度の高いコースを選択しました。私のようにまだ将来志望する専門医コースを決めていない方や、多くの市中病院を回りたい方にはおすすめのコースです。というのも、興味ある診療科は1年目で回った後に2年目で再度選択して回ることも可能であるため、迷っている診療科を比較し吟味して決定することが出来ます。

また、同じ診療科でも大学病院と市中病院では経験する症例や手技なども異なってくるため、その違いを早いうちから学ぶことが出来るのもRYUMICのメリットであり、その結果、後期研修で勤める病院を決める参考にもなると私は考えています。私が選択した『ていだ』コースは必要な症例を経験(レポート)すれば、回る診療科の数や期間に制限はなく、1年以上市中病院で研修することも認められています。この特徴を最大限に生かして、1年目で必要な症例を全て集め、2年目では将来専門として勤める診療科を1年間がっつき選択する強者も同期にはいます。これほど自由で選択制の高いコースは県内では間違いなくここしかないと断言出来ます。

しかし、大学病院は市中病院に比べ給与や経験できる手技が少ないという意見もあり(実際そうですが)、その点を危惧される方は積極的に興味ある市中病院を選択することで問題は解消されると思いますし、大学病院の中と外から見る視点を研修医の時点から養えることは、今後の医療人生に大いに役立つことかと私は考えています。

さらに、当院の研修医は市中病院のような週2回(月8回程度の)救急の日当直制度がなく、代わりに月2回ほどの準夜勤(18:00~23:00)制度があります。夜間や休日の仕事も比較的少ないため、卒後に結婚や出産を控えている方も働きやすい環境なのではないでしょうか。また同期が約20名と多いため、産休や育休を取っても同期の仕事が増えることもないため、配慮や気兼ねなくプライベートの計画も立てやすいと思います。

『ていだ』コース以外にも、小児科コース、産科・周産期コース、中部病院でも研修できる『うるま』コース、宮古病院で研修できる『美(か)ぎ島』コースもあります。

興味のある方は気軽に研修医室にいらしてくださいね。みなさんと一緒に仕事が出来の日を楽しみにしています。